



樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL : 0155 (37) 5501
発行日 令和3年7月21日

「一年に一度じゃない 一生に一度」の三条祭を終えて

2年ぶりの三条祭は、密を避け外での活動を中心に行われました。心配された天候もなんとかもち、伝統のアーチを中心に生徒たちの創造性と協同性を発揮する場ができました。生徒たちの笑顔があふれる3日間。「片付けまでが三条祭」という生徒会からのメッセージに伝統を感じました。PTAの皆様をはじめ、地域の方々など多くの方々に支えられました。ご協力ありがとうございました。

今回、コロナ禍の中での開催という本当に難しい舵取りを任された生徒会執行部を代表して生徒会長、小西莉緒さんからのメッセージをお届けします。



みなさん、こんにちは。生徒会執行部です。ここでは私たちからみた三条祭をふりかえっていきたくと思います。この三条祭は今の1年生が入学する前から企画してきました。コロナウィルス感染症が流行していても出来て、来年、再来年もこの伝統ある三条祭を受け継いでもらうことが出来て、皆さんに楽しんでもらうことができる、そんな三条祭を目標に作り上げてきました。時に執行部と先生方の意見が違い、顧問の先生に言い過ぎてしまったり、執行部内で意見が割れてしまったりすることもありましたが、どうにか細案を作り上げることができました。そのようなことがありながらも始まった1次作業では1回しか経験していない3年生、初めての1・2年生、それぞれ不安や疑問があったと思いますが、生徒会執行部も同じでした。これどうしたらいいんだろう？こんな時どうしたらいいの？私自身も生徒会長という立場でしたが、わからないことだらけでした。そ

んな中でも作業期間を無事に終え、学校祭当日を迎えることができたのは皆さんのお陰です。そして、学校祭の3日間を何事もなく終えることができ、皆さんに楽しんでもらえ、私たち執行部もうれしい気持ちでいっぱいでした。

最後になりますが、私たちを支えてくださった先生方、生徒会を鼓舞して閉祭式では私たちのメッセージを読んでもらった校長先生、私たちに最後まで協力してくださった生徒の皆さん、たくさんの人たちのお陰で成り立つことができました。本当にありがとうございました。

生徒会長 小西莉緒



小樽商大合格に向けて講話

14日放課後、ベネッセコーポレーションの奥野佑成さんを講師として招き、小樽商科大志望の生徒32名を対象に勉強法を中心とした合格への対策を話していただきました。

大学入試の中で基礎が60%を占めることから、まず基礎を確実にすること、苦手な科目を一番集中できる朝にするというような自分の勉強スタイルを確立すること、勉強する場には絶対スマホを持っていかないようにすることなどをアドバイス。さらに、模試の復習の習慣をつけることが大事で、模試振り返りノートを作成し、自分がつまづいたポイントを整理することが大切だと強調されていました。この勉強法は全てに通じると思います。ぜひ、参考にしてください。



生徒ホールに「三条ギャラリー」という展示コーナーができました。文化系部活動の発表の場として設置したもので、現在は学校祭で展示した美術部と書道部の作品の一部が展示されています。今後も各部活動ごとに定期的に更新していく予定です。バス待ちや部活動の合間のひととき、仲間の素晴らしい作品で心に潤いを与えてみるのはいかがでしょうか？

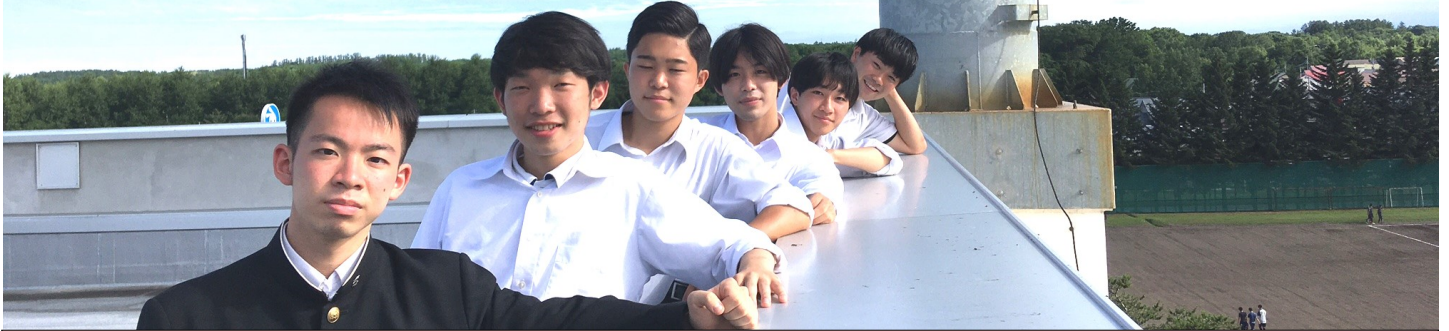


三条祭特別企画

インタビュー

きらり

三条高校で輝いている生徒を紹介する校長インタビュー「きらり」ですが、今回は優勝チームのチームリーダー阿部君のインタビューと、各チームリーダーたちから後輩に送るメッセージをお届けします！



総合優勝を飾ったEチームのチームリーダー

サッカー部前主将 3-5 阿部 幸二郎 くん



2年ぶりの三条祭、総合優勝はEチーム（5組）で幕を閉じました。そこで今回はチームリーダーの3年5組阿部幸二郎君に話を聞きました。「思い返せば準備期間も含めてあっという間の2週間でした。2年間空いてしまった学校祭でしたので自分たちが中心となって考えて行動することはとても大変でしたが、1・2年生が積極的な姿勢で取り組んでくれました。自分たちが作り上げたという充実感があります。」と振り返ってくれましたが、パートリーダーに自ら手を挙げたものの当初は不安だったと言います。何もわからない1・2年生にとにかく学校祭が楽しいと思ってもらえるように、まず認めてほめることを心がけて

声掛けをしていったそうです。阿部君はサッカー部で主将でした。「その立場になるまでは周りを見ることはできませんでした。立場が人を成長させるんだと本当に思います」と本人は謙遜しますが、同じサッカー部でB組リーダー今野君は「幸二郎が言えば部員みんなが従うほどのリーダーです」と言っていました。閉会式でもすばらしい挨拶で、感心しました。

そんな阿部君は三条高校のことを「自分の目標を周りのみんなが支えてくれる。お互いに刺激しあえるのが三条のすばらしいところ」と言っていました。将来は医療関係の職に就きたいとのこと。あなたの素晴らしい人間性は、必ずやチーム医療で遺憾なく発揮されることでしょう。頑張ってください！



Aチーム 栗田大夢

1・2年生にとっては初めての学祭、楽しかったでしょうか？本番はもちろん最高に楽しいのですが、作業期間も試行錯誤しながら作品を作り上げていく過程がとても楽しいです。来年は1・2年生のみなさんが主体となって学祭を作り上げていきます。新しく入ってくる後輩に今年体験した学祭以上の楽しさを伝えていってほしいと思います。



Bチーム 今野隼空

結団式で戸惑った顔が多く見られたけれど、終わってみれば全員満足の笑顔でいてくれたことにホッとしています。まだ、本当の学祭にはなっていないけれど次の伝説を作るのは君たちだ!!! 今回、俺のイケメンさを見てチーム長になりたいと思ったその君！新しい時代を作ってくれ！みんな、ついてきてくれてありがとう。



Cチーム 安達康太

1・2年生の皆さん、お疲れ様でした！こんな自分についてきてくれて本当に感謝しかありません。今年の三条祭はこれからの基盤を作ったに過ぎません。もっとよりよい学校祭を今の1・2年生は作れると思います。そのために必要なのは、「苦勞すること」です。学校祭の作業に一切の妥協は許されません。たった一つの妥協が後に結果として全て自分たちに返ってきます。たとえ辛くてもより良いものへとるように協力して頑張ってください。多分良い結果が待っています。



Dチーム 中山翔太

2年ぶりの学祭ということで、不安なことや、わからないことが多くありましたが、チームのみんなで協力して悔いのない学校祭をつくりあげられたと思います。後輩は正直なところ、不満が多い準備期間だったと思うけど、当日にみんなの笑顔が見ることができてよかった。Dチーム、最高!!



Fチーム 阿 蕪 響

今回の三条祭で感じたと思うけれど、三条祭は本当に三年生が大活躍します。その立場になった時、あなた達がまた新たな三条祭としての歴史に足跡をつけてください。その時のための経験です。憧れと野望を忘れず、最後まで走り抜けましょう！

みんな本当にお疲れ様でした

